

# 規制改革推進会議 健康・医療・介護 ワーキング・グループ ヒアリング

特定非営利活動法人BONDプロジェクト

# BONDプロジェクト活動紹介

10代20代の生きづらさを抱える女の子のための女性による支援

## 2006年「VOICES MAGAZINE」始動、2009年NPO設立

聴く

ありのままの声を聴き表現できる場を作る。

LINE、メール、電話、面談、出張面談  
ネットパトロール、街頭パトロール、アンケート実態調査

伝える

女の子の声を知ってもらう。

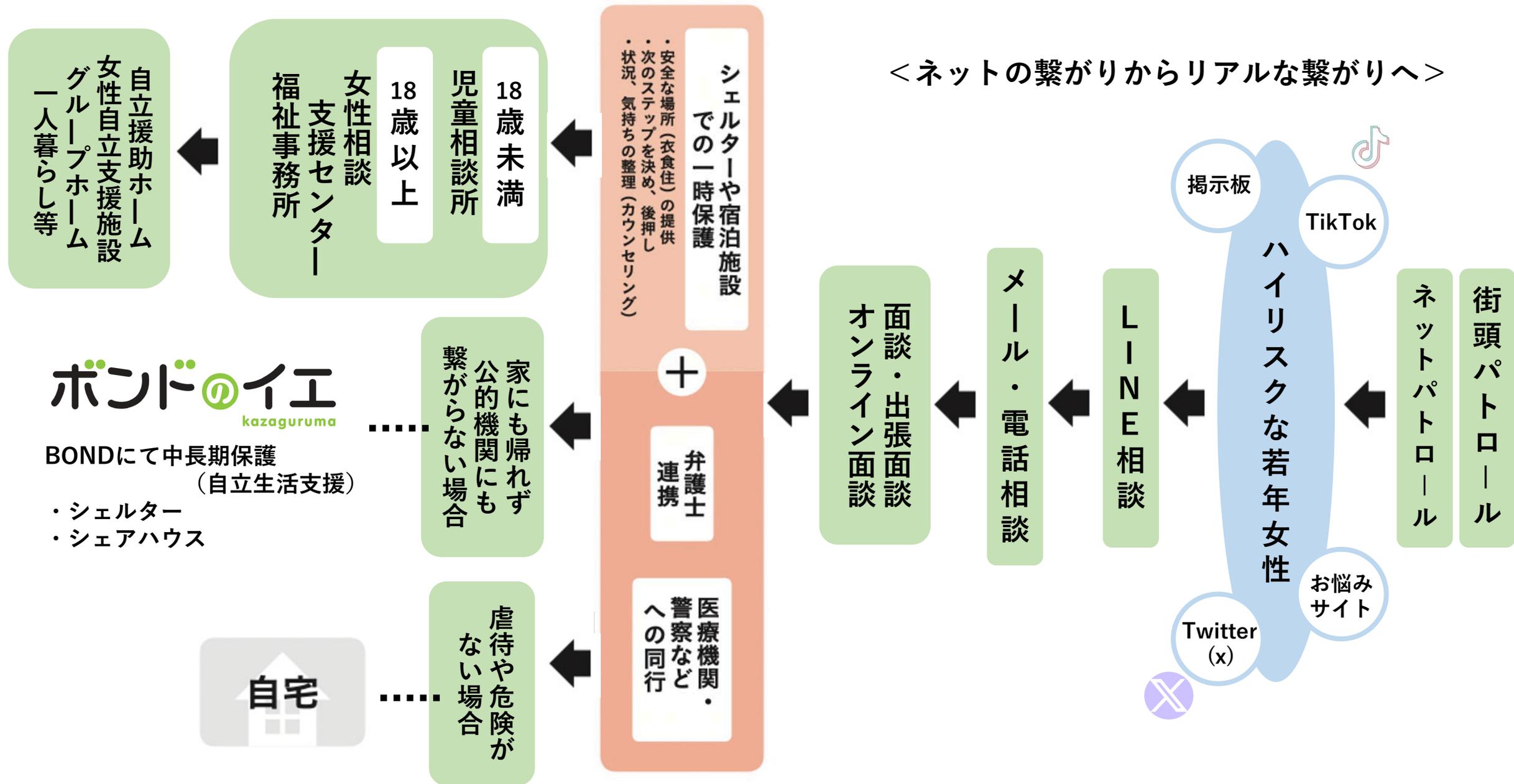
フリーペーパー「VOICES MAGAZINE」発行、webサイト「VOICES」運営  
講演会・啓発活動、渋谷のラジオパーソナリティ「渋谷の漂流少女たち」  
10代20代女性を対象としたイベント

繋げる

一人ひとりに見合った支援・大人に繋ぐ

全国の支援団体・公的機関等と連携して相談者を支援に繋ぐ  
一時保護、同行支援、中長期保護、自立生活支援  
昼間の居場所「MELT」の運営

# BONDプロジェクトの支援の流れ



# SNS上のOD・薬物に係る状況

(ネットパトロールより)

## 直近でよく使用されている「#」

#OD界限    #お薬もぐもぐ    #ODレポ    #+薬の名前  
#死にたい人と繋がりたい  
#病み垢さんと繋がりたい  
#闘病垢自己紹介カード  
などの「繋がりたい系」のタグがほとんど。

## 利用されているSNSの状況

### X (旧Twitter)、Tik Tok

まずはそのタグで反応しあって相互フォローになってからOD関連の話をしていくパターンが多い。20t,30tなど飲んだ錠数をツイートする場合もあり、飲んだ錠剤数を書き込むのがステータスのようになっている。

低年齢の子が病み垢でOD経験者に飲んだらどんな感じか、何を飲んでいるのかを情報収集しているケースもある。

SNSでODの実況やスペースで配信をしながら飲んでいるケースあり。

### テレグラム

薬の違法な取引

# ODレポート (SNSより引用) : 話題になり注目されている投稿の例

SNSのおすすめ欄にこのようなレポートが出てくる。

※ 個人の特定を避ける等の観点から一部を黒塗り

<かわいい!>

市販薬のODレポート

- ・値段
- ・オススメ量
- ・効果
- ・注意点

16日  
 11時  
 20分

---



ブロン

84・60錠入り  
84の15分が1錠  
あたりが安い!  
ODの王道

- 平均¥1500 (場所によらず900~2200の差がある (84錠) 薬局は高め、通販は安め)
- 耐性なければ毎日飲むからいい
- ふくふく+かきインデシキシキ! 免職、仕事、作業... めっちゃはかどる!
- 大粒でのみにくい、薬局で買いにくい (きびしいところだと書類がかりさたり...)

---



Lスタミン

ダントツコスパ良い  
薬局でもかきやすい  
80・120錠入り  
ダウナー系

- 平均¥700 (どこでも大体価格は変わらない (120錠) 薬局でもかきやすい)
- 幻覚・幻聴がくるのは
- 体が重い、めまいがあるかな、見える・聞こえる
- えぐい吐き気、虫が見える、苦手な人は苦手な薬

---



金パツ

一番どにかい  
210錠入り!  
学生のお供

- 平均¥1600 (通販が安い!) (210錠)
- ブロンとほぼ同じ量
- ブロンとほぼ同じふくふく系
- 肝臓にダメージを与えるお薬だから長期服用X

---

その他(オススメしない)

- イソカ→ただきもちゆるくなるだけ
- ルル→金パツ同様、肝臓にダメージ、それとはきけ
- コンク→メジコン買え!!!!

一応ふくふく成分はブロンと同じだけ入ってる! その他+d...でかかんじ

# OD、薬物に関する相談状況

# BONDプロジェクトに届いた相談

## ① チャット相談

今年度 相談件数16,925件のうち、ODをしていることを確認できた件数346件  
(2024年4月～10月)

昨年度 相談件数30,071件のうち、ODをしていることを確認できた件数586件  
(2023年4月～2024年3月)

## ② 電話・面談

今年度 自傷行為：1,776件 薬物依存：453件 (2024年4月～10月までの延数)

昨年度 自傷行為：3,039件 薬物：957件 (2023年4月～2024年10月までの延数)

- ・ 複数回答
- ・ 出張面談、シェルターでの面談含む

# BONDプロジェクトに届いた相談ケース

- ①人物像
- ②服用している医薬品、服薬量、頻度など
- ③ODに至る過程（考えられる支援策）

※プライバシーに配慮し一部改変

## ケース①

- |   |   |
|---|---|
| ① | 20代・女性。<br>大学での授業で虐待を学んだことを機に、自身が虐待を受けていたと自覚。<br>それから、心身ともに不安定な日々を過ごすようになり、SNSが居場所となった。   |
| ② | ブロン液を1回のODで1本。炭酸水やヨーグルトに混ぜたり、アイスにかけたりしていた   |
| ③ | <ul style="list-style-type: none"><li>• 大学での授業で虐待を学んだ際に、自身も虐待を受けていたと自覚。体調不良に陥る。（SNSや学校等での相談窓口）</li><li>• 心身ともに不安定となり、授業に出られなくなる。（医療や支援に繋ぐ）</li><li>• SNSが居場所となり、リストカットやODを知り、関心を持つようになる。（自分の気持ちを話せる安全な居場所作り）</li><li>• 自傷行為を繰り返すようになる。（医療や支援に繋ぐ・自分の気持ちを話せる安全な居場所作り）</li></ul> |

# BONDプロジェクトに届いた相談ケース

- ①人物像
- ②服用している医薬品、服薬量、頻度など
- ③ODに至る過程（考えられる支援策）

※プライバシーに配慮し一部改変

## ケース②

①

20代・女性

きょうだいからの暴力、親からのネグレクトを受け、中学生の頃からODやリストカット、家出を繰り返していた。

現在もODをやめたくてもやめられず悩んでいる。

②

処方薬・市販薬。調子が悪くなると量や頻度も増える。多い時は200錠を超えることや毎日飲むこともある。

③

- 嫌なことがあると衝動的にリストカットを繰り返すようになった。（支援に繋ぐ・自分の気持ちを話せる安全な居場所作り）
- SNSでODのことも知るようになり、闇アカで知り合った仲間と一緒にパキって気分を高揚させるようにもなった。（支援に繋ぐ・自分の気持ちを話せる安全な居場所作り）
- 高校生になり、このままでいいのかを考えた時に絶望的になりYou tubeで『死にたい』と検索した。その時にBONDプロジェクトの動画を見つけ、相談に至った。（相談先の情報発信）
- 医療にも繋がるが、ODをやめたくてもやめられずにいる。（SNSの規制）

# BONDプロジェクトに届いた相談ケース

- ①人物像
- ②服用している医薬品、服薬量、頻度など
- ③ODに至る過程（考えられる支援策）

※プライバシーに配慮し一部改変

## ケース③

- |   |   |
|---|---|
| ① | <p>10代・女性<br/>家庭にも学校にも居場所がなく、家出を繰り返していた。<br/>繁華街でODして搬送される、ODするための薬を万引きしてしまい警察から病院に移送されるなど、入院も複数回。薬物依存症のような状態にもなっている。<br/>入院中は食事や居場所も確保され「まともな生活ができる」と感じるが、退院して家に戻るとまた元の家出を繰り返す生活に戻ってしまう。</p>   |
| ② | <p>ウット、ブロン等の市販薬。多い時は200錠飲むこともある。常に体内に薬が入っている状態。</p>   |
| ③ | <ul style="list-style-type: none"><li>• 小学生の時に風邪薬を多量服薬し「フラフラして楽だ」と思ったことを機にODを始めた。（学校での見守り・支援に繋ぐ）</li><li>• 小遣いで薬を買っていたが、次第に足りなくなり中学生の時からパパ活をして薬を買うようになった。（SNSや学校等での相談窓口・自分の気持ちを話せる安全な居場所作り）</li><li>• 薬を買うためにパパ活する生活が続く。パパ活の行為がつらいため、その記憶をなくすためにもODをするようになる。（医療や支援に繋ぐ・自分の気持ちを話せる安全な居場所作り）</li></ul> |

**ODに用いられている医薬品**

- **ODに用いられている医薬品の特徴**

ODの効果を得られる製品（パキれる製品）

→まず、SNSでODレポートを見て、ODでどのような症状が出るかを調べる。

「ふわふわする」「バッドに入る」「宇宙に行く」「幻覚を見る」などがレポートに書いてある。

「致死量」を調べて、少ない数で死に至ることができる薬を濫用するケースもある。

- **具体的な製品例**

**市販薬**

メジコン、ブロン、レスタミン、パブロン、ナロンエース、ハイプロン、イブ、ルル、コンタック、ウット、ドリエルなど

**処方薬**

ハルシオン、サイレース、デパス、クエチアピン、マイスリー、リタリン、レキソタン、レボトミン、カロナールなど

# 傾向と問題意識

- ・低年齢化、小中学生にも広がっている
- ・ODが関わる事件（誘拐、性的暴行、死亡等）
- ・ト一横やグリ下の問題。子供達を搾取する大人の存在
- ・SNSにOD関連の投稿が溢れている  
ODレポートやSNS上での情報交換、どれだけ飲んだかを競い合う投稿
- ・ネットに居場所を求めており、仲間意識からODをする子  
ODしていないと仲間外れにされる。
- ・錠剤が飲みにくいと砕いて飲み物に混ぜて飲んでいる
- ・安易に処方してもらえる病院を巡って薬を入手している
- ・まとめて多量に処方され、処方薬をODしている

**薬物乱用から守るために**

## 購入時の規制で抑止効果があると思われる対策

- ・ 一度に買える数の上限を設ける
- ・ 立て続けに同じ薬や濫用に使用される薬を購入した場合、アカウント停止
- ・ 交通系ICのIDや顔認証などを利用した繰り返し購入できない仕組み、他店舗での購入履歴もわかるもの
- ・ 薬剤師、店舗スタッフによる声掛け

## 病院巡りの対策を

- ・ 医療機関間でも処方履歴を共有するなど多量処方防止の対策を。
- ・ 簡単に処方してもらえる病院の情報が共有されていることもある。

## 各支援機関との連携体制の構築を

- ・ 医療、福祉、警察、民間支援団体等
- ・ 規制だけではこぼれ落ちてしまう層への対策

## 子どもたちを巻き込んでいく大人への対策を

## 依存症の対策を同時に

### ●ODがやめられない女の子と支える家族の声

- ・ODがとにかくやめられず、本人も家族も悩んでいる。  
薬を飲んでいないときは穏やかに話もできるが、薬を飲むと暴れてしまったり、トラブルに巻き込まれる。
- ・依存症専門の病院に繋がることのハードルの高さがある。  
精神科に20回以上入院していても繋いでもらうことができない。
- ・役所や精神保健センターでは病院の紹介をされるだけで、実際に繋いでもらうことができない。
- ・ODを繰り返したり、薬物への依存があるため、受け入れ先がなくなる。  
グループホームや施設から「うちでは無理です」と言われ、居場所や暮らす場所を失うことにもなる。
- ・「市販薬の薬物依存」について相談でき、支援を受けられる場があると良い。  
違法薬物をやってる人たちとの繋がりができてしまう怖さがある。